

株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 剰余金の配当基準日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 単元株式数 500株
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払 ^(※) 、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

※ 未払配当金のみ、みずほ銀行本店および全国各支店でもお取扱いいたします。

- 公告方法 電子公告(<http://www.musashinet.co.jp/koukoku/>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

■上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の改正により、平成21年1月からお支払する配当金については、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成24年の確定申告の添付書類としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、平成22年1月のお支払分より源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成24年の確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

株式会社 **ムサシ**

本社：〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目20番36号
TEL.03-3546-7711
<http://www.musashinet.co.jp/>

Financial Report 2011

株式会社 **ムサシ**

第90期 年次報告書

(2010年4月1日～2011年3月31日)

MUSASHI

証券コード:7521

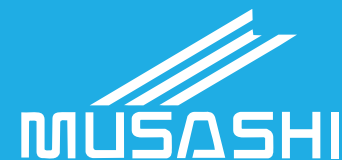
企業理念

私たちは
人とシステムの
創造と調和を実現し、
健全で信頼される企業を
目指し続けます。

事業ドメイン

SYSTEM CREATION COMPANY

—価値創造企業—

MUSASHI

ごあいさつ



代表取締役社長

小林 厚一

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、このたびの東日本大震災で被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

ここに、第90期年次報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当期の日本経済は一部の企業が新興国市場に活路を見出し、業績の回復傾向が見られたものの、本格的な景気回復への道は依然として不透明な状況が続いております。このような環境下で当社が着実に成長していくためには、自社の強みをどの分野で発揮していくのかを明確にすることが必要だと考えます。

To Our Shareholders

当社の基本方針は、本業に徹しながら時代の流れや変化に対応し取扱商品やサービス内容を変えていくこと。同時に本業の周辺分野に新しい事業開拓の芽を見出すことです。我々はお客様ニーズをもとに商品やソフトを開発あるいは発掘し、それらを組み合わせてシステムを創ります。そのシステムは付加価値をもった当社オリジナルの商品となります。システムを構築し、つまり価値を創造し、お客様に提供するのが当社の役割であると認識しております。そして、時代がいかに変化しようとも、常にお客様が抱える問題やニーズを上手に解決できる企業であり続けたいと考えております。

ムサシはこれからも果敢な勇気と行動力で、あらゆる可能性に挑戦してまいります。今後ともより一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2011年6月

参議院選挙で新たなトレンド

投票用紙読取分類機

昨年7月に実施された参議院選挙の開票所で注目を浴びたのが投票用紙読取分類機。投票用紙に書かれた候補者名を高速で読み取り、自動仕分けする機械です。当社が新発売した「テラックCRS-VA」は全国の自治体で導入され開票作業の大幅な効率化に貢献。開票時間の短縮と人員削減による経費節減を多くの自治体で実現しました。開票所で活躍する機械の新しいトレンドです。



テラックCRS-VA



増大する書籍の電子化

国立国会図書館

国立国会図書館が描く電子図書館構想は壮大なプロジェクト。いつでもどこでも誰でもインターネットを通じて利用できる図書館サービスの実現です。その中で当社は、同図書館が所蔵する書籍の電子化業務を受注。約60万冊にも及ぶ大量の書籍を1ページずつ確実にスキャンしてデジタル化した後、検索情報を打ち込み、巨大なデータベースを構築しました。



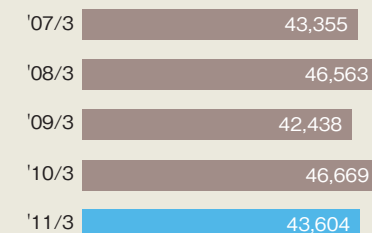
当連結会計年度におけるわが国経済は、新興国の経済成長に伴う需要拡大や国内の経済対策を背景に企業業績が改善するなど、景気回復の兆しが見られたものの、円高の進行や原油価格の上昇などから足踏み状態となりましたが、当期末直前に発生した東日本大震災が日本経済に与えた影響は甚大であり、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループでは、情報のデジタ

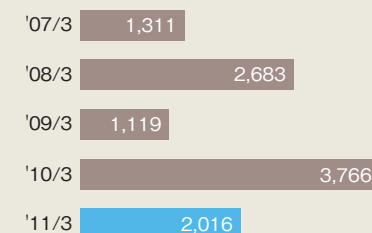
ル化業務の受注や印刷機材の拡販に注力する一方、貨幣処理機器やセキュリティ機器及び参議院選挙向け機材などの販売に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当期の連結売上高は436億4百万円(前年同期比6.6%減)、営業利益は18億70百万円(前年同期比47.4%減)、経常利益は20億16百万円(前年同期比46.5%減)、当期純利益は6億75百万円(前年同期比70.0%減)となりました。

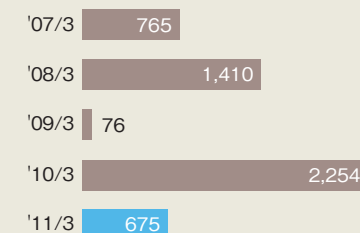
● 売上高 (単位: 百万円)



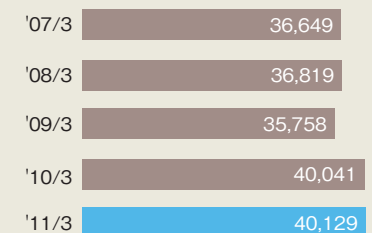
● 経常利益 (単位: 百万円)



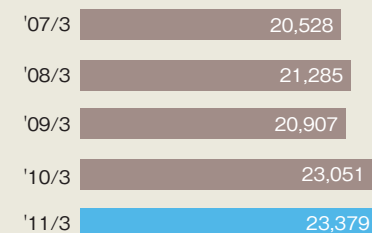
● 当期純利益 (単位: 百万円)



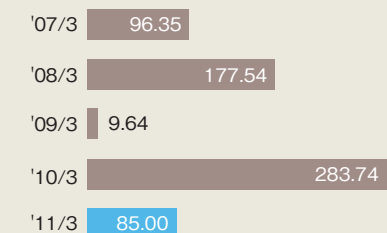
● 総資産 (単位: 百万円)



● 純資産 (単位: 百万円)



● 1株当たり当期純利益 (単位: 円)



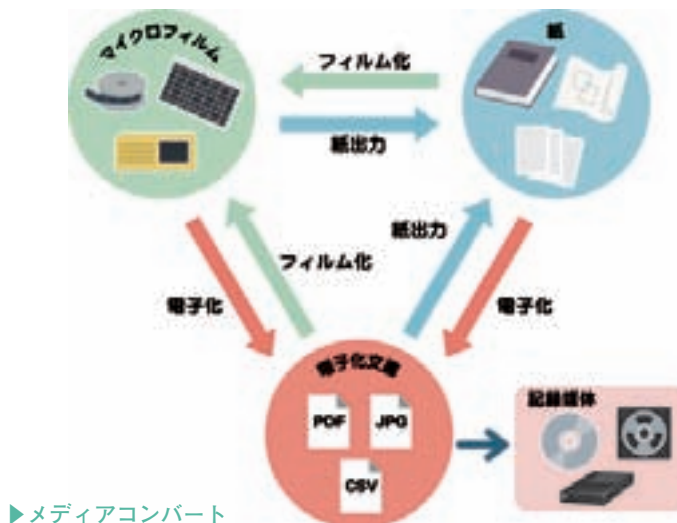
情報・印刷・産業システム機材

先進のデジタルソリューション

情報・産業システム

あらゆる情報の活用・保存をサポート

文書や図面、書籍などの紙情報や、様々な形態のマイクロフィルムなど、あらゆる情報を電子データ化しネットワークでの有効活用を可能にするための業務や、これら情報をマイクロフィルムに撮影し情報の長期保存に対応する業務など、総合的な「メディアコンバートサービス」を提供しています。官公庁や自治体、民間企業での情報活用・保存を中心とするアウトソーシング事業をグループで推進しています。



▶メディアコンバート

印刷システム

最適なデジタル印刷ソリューションを提供

進化を続けるデジタル印刷システム。大ロット印刷に適した「CTPシステム」や、小ロット印刷で効果の大きい「プリントオンデマンドシステム」を富士フイルムの特約代理店として取り扱い、あらゆる印刷ニーズにも対応可能な、効率的で高品質のシステム環境を提案しています。また、これらデジタルシステムの運用に欠かせない実践的なカラーマネジメントのサポートなど様々なソリューションを提供しています。



▶オンデマンド
プリンティング

【当期の概況】

売上高

305億79百万円

営業利益

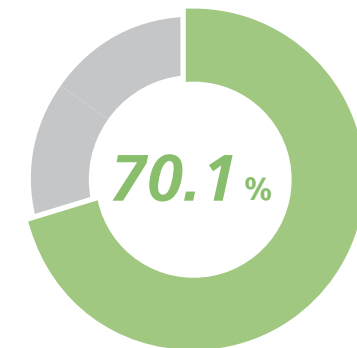
11億19百万円

情報・産業システム機材は、官公庁・自治体を中心とする文書のデジタル化業務の受注や、スキャナーなどドキュメントの電子化機器の販売は堅調に推移しましたが、前年度大幅に伸長した情報のデジタル化業務の反動減の影響を受け、前年実績を下回りました。

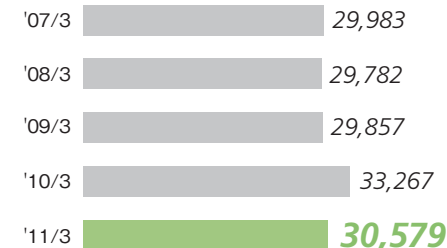
印刷システム機材は、機材需要に若干の回復の兆しが見られ、印刷機器及び印刷材料の販売とも順調に推移し前年実績を上回りました。

以上の結果、売上高は305億79百万円(前年同期比8.1%減)、営業利益は11億19百万円(前年同期比58.7%減)となりました。

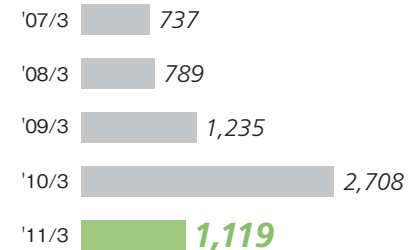
●売上高構成比



●売上高 (百万円)



●営業利益 (百万円)



金融汎用・選挙システム機材

オリジナルブランド「テラック」を展開

金融汎用システム

現金処理業務を変革する高度な技術

当社がメーカーとして製造販売する貨幣の処理機器は、現金を扱う様々な業種向けに開発された先進のシステム。金融機関や流通業をはじめ、あらゆる市場で高い評価を受け、海外にも輸出されています。その商品ラインは鍵・IDカードや重要物の管理機器、デジタル監視カメラなどセキュリティ分野にまで拡がり、機能的な現金処理と高い安全性を両立させるソリューションを提供しています。

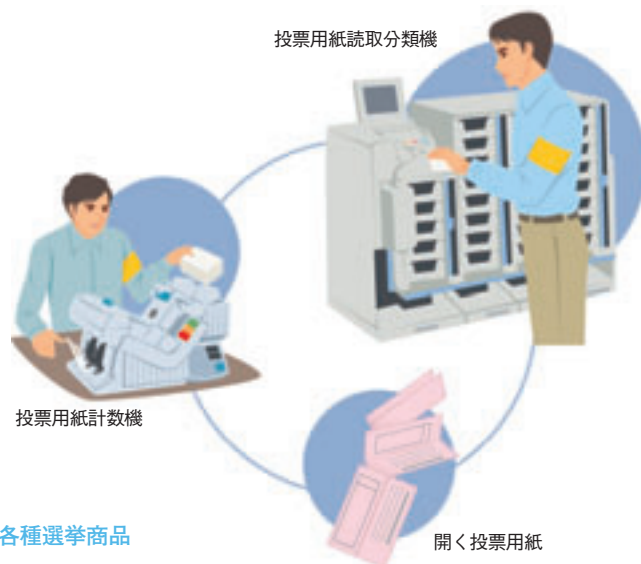


▶外貨両替システム

選挙システム

選挙事務の効率化をトータルサポート

当社は投開票事務の効率化を40年以上にわたりサポートしてきました。全国で使用されている「開く投票用紙」や、開票所での「投票用紙読取分類機」「投票用紙計数機」をはじめ、業務管理システム、投票箱等の用品・用具類、選挙前の啓発活動グッズなど幅広く取り扱っています。業務効率の追求だけでなく、公正で厳正さが要求される選挙全体を捉えた正確で安全なソリューションを提供しています。



▶各種選挙商品

【当期の概況】

売上高

62 億円

営業利益

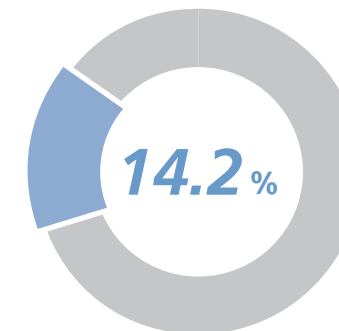
6 億 18 百万円

金融汎用システム機材は、一部の貨幣処理機器の販売に伸長が見られましたが、主力市場である金融機関及び流通市場の需要低迷の影響を受け、前年実績を若干下回りました。

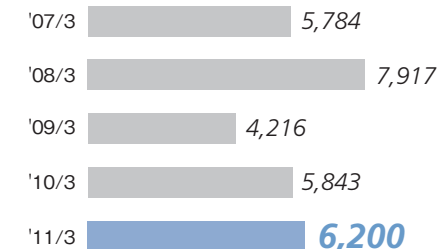
選挙システム機材は、投票用紙読取分類機の新製品の投入効果もあり、参議院選挙や統一地方選挙向け機材の販売が順調に推移し前年実績を上回りました。

以上の結果、売上高は62億円(前年同期比6.1%増)となり、営業利益は6億18百万円(前年同期比7.9%減)となりました。

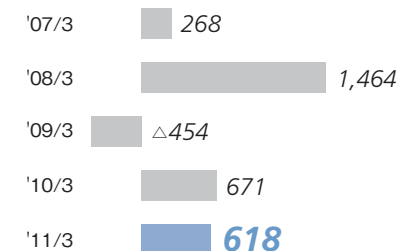
●売上高構成比



●売上高 (百万円)



●営業利益 (百万円)



紙・紙加工品

【当期の概況】

売上高

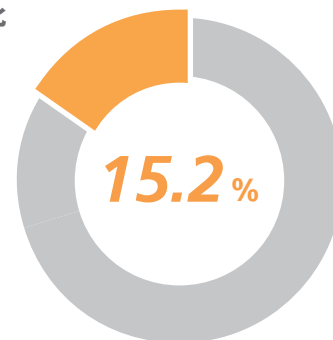
66億2百万円

営業利益

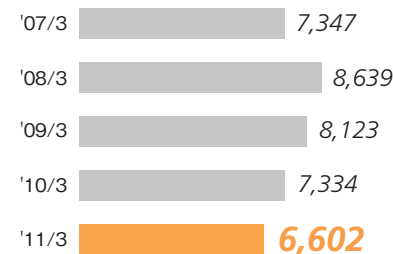
△23百万円

紙・紙加工品は、商業印刷の需要減少による塗工印刷用紙の販売減に加え、印刷材料用感光材包装紙などの販売が落ち込み、売上高は66億2百万円(前年同期比10.0%減)となり、23百万円の営業損失(前年同期は営業利益15百万円)となりました。

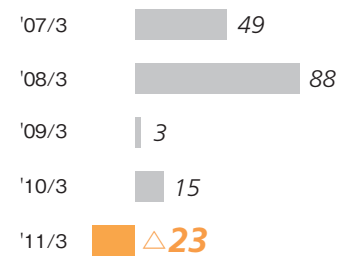
●売上高構成比



●売上高 (百万円)



●営業利益 (百万円)



その他

【当期の概況】

売上高

4億99百万円

営業利益

1億51百万円

その他のセグメントである不動産賃貸業、リース、損害保険代理業の売上高は4億99百万円(前年同期比4.3%減)、営業利益は1億51百万円(前年同期比4.1%減)となりました。

●会社の対処すべき課題

●情報のデジタル化事業

官公庁・自治体を中心とする大口案件の受注に注力するとともに、企業の保有する重要文書の電子化サービスや、震災などのリスク対策としての各種情報のアーカイブ化サービスを強化し、アウトソーシング事業の拡大に取り組んでまいります。

●印刷システム機材

印刷工程の合理化や生産性向上を目的とした機器の増設や更新を推進するとともに、CTP市場において優位性のある環境対応商品の販売を強化するほか、POD市場では小ロット多品種化する印刷ニーズへの対応促進を図り、市場シェアの拡大を図ってまいります。

●金融汎用システム機材

貨幣処理機など既設機器に対する更新需要の低迷は当面続くと予想されるため、顧客ニーズに即応した機器や、オペレーショナル・リスク低減に関わる機器・システムの開発及びソリューション提案に注力してまいります。

●選挙システム機材

国政選挙の有無にかかわらず安定した業績を確保するため、選挙業務ソフトなどの拡販に注力してまいります。

●紙・紙加工品

商業印刷をはじめ、出版や包装紙器など更なる需要減少が懸念されるため、既存顧客の深耕と新規顧客開拓を推進し収益構造の改善を図ってまいります。

● 連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨て)

科 目	第 90 期 2011年3月31日現在	第 89 期 2010年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	13,961	11,044
受取手形及び売掛金	12,240	16,594
商品及び製品	1,719	1,726
仕掛品	113	130
原材料及び貯蔵品	288	237
その他	1,131	643
貸倒引当金	△ 42	△ 58
流動資産合計	29,412	30,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,218	1,304
土地	2,131	2,159
その他	472	535
有形固定資産合計	3,822	4,000
無形固定資産	168	191
投資その他の資産		
投資有価証券	1,379	1,662
差入保証金	2,564	2,561
その他	2,883	1,417
貸倒引当金	△ 102	△ 109
投資その他の資産合計	6,725	5,531
固定資産合計	10,717	9,722
資産合計	40,129	40,041

(単位:百万円未満切捨て)

科 目	第 90 期 2011年3月31日現在	第 89 期 2010年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,903	9,019
短期借入金	3,537	3,622
未払法人税等	150	1,426
賞与引当金	437	439
その他	1,192	1,085
流動負債合計	14,221	15,593
固定負債		
退職給付引当金	199	188
役員退職慰労引当金	887	735
その他	1,442	472
固定負債合計	2,529	1,396
負債合計	16,750	16,990
(純資産の部)		
株主資本	23,418	23,062
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005
利益剰余金	20,212	19,855
自己株式	△ 7	△ 6
その他の包括利益累計額	△ 39	△ 10
その他有価証券評価差額金	△ 39	△ 10
純資産合計	23,379	23,051
負債・純資産合計	40,129	40,041

● 連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科 目	第 90 期 2010年4月1日～ 2011年3月31日	第 89 期 2009年4月1日～ 2010年3月31日
売上高	43,604	46,669
売上原価	34,858	35,950
売上総利益	8,746	10,718
販売費及び一般管理費	6,875	7,160
営業利益	1,870	3,557
営業外収益	195	261
営業外費用	50	52
経常利益	2,016	3,766
特別利益	3	4
特別損失	707	97
税金等調整前当期純利益	1,311	3,673
法人税、住民税及び事業税	808	1,645
法人税等調整額	△ 171	△ 226
少数株主損益調整前当期純利益	675	—
当期純利益	675	2,254

● 連結株主資本等変動計算書

第90期(2010年4月1日～2011年3月31日)

(単位:百万円未満切捨て)

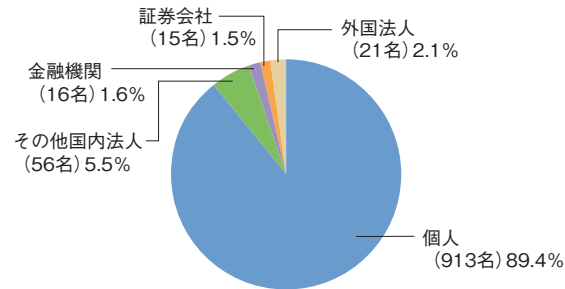
科 目	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
2010年3月31日 残高	1,208	2,005	19,855	△ 6	23,062	△ 10	△ 10	23,051
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 317		△ 317			△ 317
当期純利益			675		675			675
自己株式の取得				△ 1	△ 1			△ 1
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 28	△ 28	△ 28
連結会計年度中の変動額合計	—	—	357	△ 1	356	△ 28	△ 28	327
2011年3月31日 残高	1,208	2,005	20,212	△ 7	23,418	△ 39	△ 39	23,379

- 発行可能株式総数 28,920,000株
- 発行済株式の総数 7,950,000株
- 株主数 1,021名
- 大株主(上位9名)

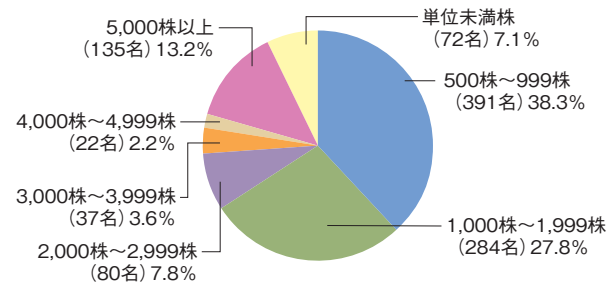
株主名	持株数	持株比率
上毛実業株式会社	1,365 千株	17.2 %
ショウリン商事株式会社	1,150	14.5
ムサシ社員持株会	534	6.7
羽鳥雅孝	360	4.5
株式会社みずほ銀行	360	4.5
ムサシ互助会	299	3.8
小林厚一	284	3.6
株式会社三井住友銀行	190	2.4
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	133	1.7

(注) 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

株式の所有者別状況(株主数)



株式の所有数別状況(株主数)



<http://www.musashinet.co.jp/>

当社ホームページでは、事業紹介やIR情報、商品情報、最新ニュースなどの情報を掲載しております。特に「IR情報」では、決算発表資料などのIR関連情報をタイムリーに載せております。



トップページ

新着情報をはじめ、企業情報、IR情報、事業紹介映像など様々な情報をタイムリーに発信しています。



IR情報ページ

業績などの推移がグラフで一覧できる決算ハイライトや、直近から過去に及ぶ豊富なIRデータを掲載しています。



商品情報ページ

当社で取り扱う様々な商品やサービスの詳細を紹介しています。

商号 株式会社ムサシ
 設立 1946年12月
 本社 東京都中央区銀座八丁目20番36号
 資本金 1,208,500,000円
 従業員数 連結574名/単体284名(2011年3月末現在)
 主要取引銀行 株式会社みずほ銀行
 株式会社三井住友銀行
 株式会社三菱東京UFJ銀行
 関係会社 ムサシ・フィールド・サポート(株)
 武蔵エンジニアリング(株)
 (株)ムサシ・エービーシー
 ムサシ・イメージ情報(株)
 ムサシ・アイ・テクノ(株)
 エフ・ビー・エム(株)
 武蔵興産(株)
 (株)武蔵エンタープライズ
 (株)ジェイ・アイ・エム

役員
 代表取締役会長 都木 恒夫
 代表取締役社長 小林 厚一
 代表取締役副社長 羽鳥 雅孝
 常務取締役 青坂 修司
 常務取締役 佐々木 淳
 常務取締役 平口 恵三
 取締役 村田 進
 取締役 山村 隆
 取締役 吉川 伸一
 取締役 浅川 正仁
 取締役 辻 明
 常勤監査役 中川 裕務
 常勤監査役 桑原 弘順
 社外監査役 安藤 信彦
 社外監査役 浅野 修一

- 事業所
- 本社
東京第一支店
東京第二支店
紙・紙加工営業部
東京都中央区銀座八丁目20番36号
 - 札幌支店
札幌市北区北十二条西三丁目1番15号(N12ビル)
 - 仙台支店
仙台市青葉区錦町一丁目10番11号(新平和ビル)
 - 北関東支店
さいたま市大宮区土手町一丁目2番地(JA共済埼玉ビル)
 - 東関東支店
千葉市中央区栄町42番11号(日本企業会館)
 - 神静支店
横浜市神奈川区栄町1番地1(アーバンスクエア横浜)
 - 名古屋支店
名古屋市中村区名駅二丁目35番22号(メビウス名古屋)
 - 大阪支店
東大阪市長田中三丁目6番1号
 - 中四国支店
広島市中区本川町二丁目6番11号(第7ウエノヤビル)
 - 福岡支店
福岡市博多区店屋町6番25号(第6上村ビル)
 - 新潟営業所
 - 茨城営業所
 - 静岡営業所
 - 北陸営業所
 - 岡山営業所
 - 高松営業所

